

あわら市吉崎におけるシタバニハゴロモ *Lycorma delicatula* (White) の初記録

梅村 信哉*・伊藤 勝幸*・井上美代子**・源野みね子**・桜井知栄子**

The first record of *Lycorma delicatula* (White) in Yoshizaki, Awara City, Fukui Prefecture

Shinya UMEMURA*, Katsuyuki ITOH*, Miyoko INOUE**, Mineko GENNO**, and Chieko SAKURAI**

(要旨) 2009年に石川県小松市で発見され、その後定着が確認されたシタバニハゴロモを、2013年10月10日にあわら市吉崎で採集した。これは、福井県におけるシタバニハゴロモの初記録である。また、2013年11月21日には、同地点周辺のシンジュの木ならびに廃屋の壁面から、本種の卵塊を確認した。今後、当地域での本種の発生動向、定着ならびに福井県内での分布拡大に注意を払っていく必要がある。

キーワード：シタバニハゴロモ，シンジュ，初記録

シタバニハゴロモ *Lycorma delicatula* (White)は半翅目ビワハゴロモ科に属する昆虫であり、中国、台湾、ベトナム、インドに分布する。2006年に韓国で発生が確認され、2009年にはわが国でも石川県小松市において本種が確認された(富沢ら、2010)。その後、石川県の小松市において本種の発生状況や生態が調査され、富沢(2012)、富沢ら(2013)に報告されている。加えて、石川県内における本種の分布拡大の状況についても2009年以降調査がされており、2013年現在、能美市から小松市、加賀市の12箇所が発生または成虫が確認され、加賀市塩屋町でも1個体が見つまっている(富沢、私信)。

2013年8月、坂井治美氏からあわら市吉崎で見たことのない昆虫の写真を撮影したと福井県海浜自然センターの松村俊幸氏に連絡があり、松村氏から筆者の一人、梅村に写真とともに問い合わせの連絡があった。写真を確認したところ、シタバニハゴロモであることが判明したため、福井県内への本種の侵入を確認すべく、梅村は2013年10月10日にあわら市吉崎周辺へ現地調査に向かった。その際、北潟湖畔のシンジュ *Ailanthus altissima* Swingle の木から本種を確認したため(図1)、福井県における本種の初記録として下記のとおり報告する。

シタバニハゴロモ *Lycorma delicatula* (White)

あわら市吉崎、2♀1♂、10-X-2013、梅村信哉採集、
福井市自然史博物館保管(図2)

その後、筆者らは11月21日に本種の成虫ならびに卵の有無を確認するために同地点を再度訪れた。その際、10月に成虫を確認したシンジュの木から7卵塊、またその周辺の廃屋の壁面から50以上の卵塊を確認した(図3~4)。また、筆者の一人伊藤が雌成虫1個体を採集している。

筆者らの記録と坂井氏の情報をあわせても、あわら市吉崎での成虫の確認個体数は5個体のみであるが(坂井氏が8月に本種を撮影した際も1個体しか見つからない)、卵塊が多数見つかったことから、来年以降も当地域において本種が発生するのかが注目される。

富沢(2013)は、本種の個体数の年次変動は大きく、石川県小松市で本種が初めて確認された2009年と2010年には本種が大発生をしたこと、その地域の住民の情報によると、2007年以前には当該地域で本種が進入していたと推定されることを報告しており、今後、あわら市吉崎で本種が大発生する恐れもある。加えて、石川県内での発生地の拡大の状況から、あわら市吉崎で本種が定着した場合、その後福井県内でもその分布域を拡大していく可能性もある。シタバニハゴロモの寄主植物として、シンジュ、センダン *Melia azedarach* L. などが報告されているが、本種が多数寄生しているシンジュやその下の植物は、大量の甘露を含む本種の排泄物によりすす病が発生し、景観を損なうだけでなく、寄生を受けたシンジュそのものが枯死する例も報告されている(富沢、2013)。また、本種の被害が果樹等に及ぶ恐れがあることも指摘されていることから(富沢ら、2010)、今後、あわら市吉崎での発生状

*福井市自然史博物館 〒918-8006 福井市足羽上町147

*Fukui city Museum of Natural History, 147 Asuwakami-cho, Fukui, Fukui, 918-8006 Japan.

**福井市自然史博物館ボランティア

**Volunteer of Fukui City Museum of Natural History

況の推移と、周辺地域への本種の分布拡大を追跡調査していくとともに、県内の農業ならびに自然関係機関にも本種の情報を周知していく必要があるだろう。

本稿の執筆にあたり、本文をお読みいただき、有益なご助言をいただくとともに、シタバニハゴロモに関する文献をご恵与いただいた富沢 章氏（石川県）に心より御礼申し上げます。また、あわら市吉崎におけるシタバニハゴロモの目撃情報をいただいた坂井治美氏（あわら市）ならびに松村俊幸氏（福井県海浜自然センター）にも御礼申し上げます次第である。

引用文献

- 富沢 章, 2012, シタバニハゴロモの年次変動. とっくりばち (80), 11-13.
富沢 章, 2013, 石川県に定着したシタバニハゴロモ, 月刊むし (513) 19-22.
富沢 章・林 和美・石川卓弥・福富宏和・大宮正太郎・三上秀彦, 2010, 日本におけるシタバニハゴロモの発生と分布. とっくりばち (78), 1-6.
富沢 章・大宮正太郎・福富宏和・林 和美・石川卓弥, 2013, 石川県におけるシタバニハゴロモの生態. 昆虫 (ニューシリーズ) 16 (1), 3-14.

The first record of *Lycorma delicatula* (White) in Yoshizaki, Awara City, Fukui Prefecture
Shinya UMEMURA, Katsuyuki ITOH, Miyoko INOUE, Mineko GENNO, and Chieko SAKURAI

In 2013, adults of *Lycorma delicatula* (White) were found in Yoshizaki, Awara City. This is the first record of this species in Fukui Prefecture. Subsequently, egg masses of this species were also found on the trunk of *Ailanthus altissima* Swingle and the wall of deserted house in the same area.

It is necessary to continue to survey the occurrence of this species in this area to clarify whether this species can establish or not. In addition, penetration of this species in Fukui Prefecture should be investigated in the future.

Key words : *Lycorma delicatula* (White), *Ailanthus altissima* Swingle, first record



図1：シンジュの幹で見つかったシタバニハゴロモ。
(あわら市吉崎, 10-X-2013, 梅村信哉撮影)



図2：福井市自然史博物館に所蔵されたシタバニハゴロモの標本。
(あわら市吉崎, 10-X-2013, 梅村信哉採集)



図3：シンジュの幹に産み付けられたシタバニハゴロモの卵塊。
(あわら市吉崎, 21-XI-2013, 梅村信哉撮影)



図4：廃屋の壁面に産み付けられたシタバニハゴロモの卵塊。
(あわら市吉崎, 21-XI-2013, 梅村信哉撮影)